



亀中だより

No.25 令和3年10月13日 文責:岡田



For The Students!

「心に太陽を持って」 ツェーザル・フライシュレン作

心に太陽を持って。

嵐が吹こうと、吹雪が来ようと、
天には黒雲、地には争いが
絶えなかりと、

いつも、心に太陽を持って。
苦しんでいる人、悩んでいる人には、
こうはげましてやろう。
「勇気を失うな。くちびるに歌を持って。
心に太陽を持って。」

左の詩をご存じですか。ドイツの詩人、ツェーザル・フライシュレンが今から100年近くも前に作った詩です。今のコロナ禍がまさにそうなのかもしれません。どのつらい時、苦しい時は誰にでもやってきます。どのような状況でも希望を失わず、明るく、前向きに生きようとする姿、苦しんでいる人を励まそうとする姿はお手本としたいものですね。

さて、生徒のみなさんはこの詩をどこかで見たことはありませんか？ 実は亀中のどこかにこの詩は掲げられています。わからない人は探してみてください。そして見つけたら、教えてくださいね！

(実はこの詩はいくらか省略された部分があります。興味のある人は調べてみても面白いですよ)

亀中空中散歩 10月3日ドローン空撮より

10月3日、亀中上空でドローン撮影がありました。撮影されたのは三重県病院協会の広報委員をされている松阪市民病院名誉院長の小倉嘉文先生です。本来の目的は、三重県病院協会のホームページにある「三重はふるさと空中散歩」での亀山城址特集のためでした。お話をお伺いした時に、亀中の空撮もお願いしたところ、こころよく引き受けてくださり、さっそくその動画を送っていただきました。

好天に恵まれた撮影で、鈴鹿山脈までくっきり見渡せる画像もあります。いくつかの画像をご紹介します。また三重県病院協会「三重はふるさと空中散歩」は下記のURLからご覧いただけます。亀山城址の紹介もありますので、ぜひご覧ください。

「三重はふるさと空中散歩」 <http://mieha.jp/category/sanpo/>





<お知らせ>

新型コロナウイルス感染症の感染状況は、改善に向かっており、10月14日で「三重県リバウンド阻止期間」が終了する可能性が高くなっています。亀山市教育委員会より、この期間終了後は、「同居家族に発熱等の風邪症状見られる場合にも生徒の登校を控えることまでは求めない」との通達がありました。ただし、念のため登校を控える場合はお申し出ください。これまで通り出席停止とさせていただきます。